

TAKEUCHI

2017年2月期 決算説明資料

2017年4月18日

「世界初から世界の **TAKEUCHI** へ」

株式会社 竹内製作所

証券コード：6432

- ▶ **I. 2017年2月期 決算概要**
- ▶ **II. 2018年2月期 業績見通し**
- ▶ **III. 市場見通し**
- ▶ **IV. 中期経営計画の進捗状況**

▶▶ ポイント

(1) 需要は米国・欧州ともに増加

- 北米の販売台数は6.9%増加
- 欧州の販売台数は7.7%増加
- 想定以上に欧州地域の販売が好調に推移

(2) 販売台数は増加するも、円高の影響により売上高、営業利益は減少

- 円高により外貨建て売上の円換算額が減少し、営業利益は17.4%減少

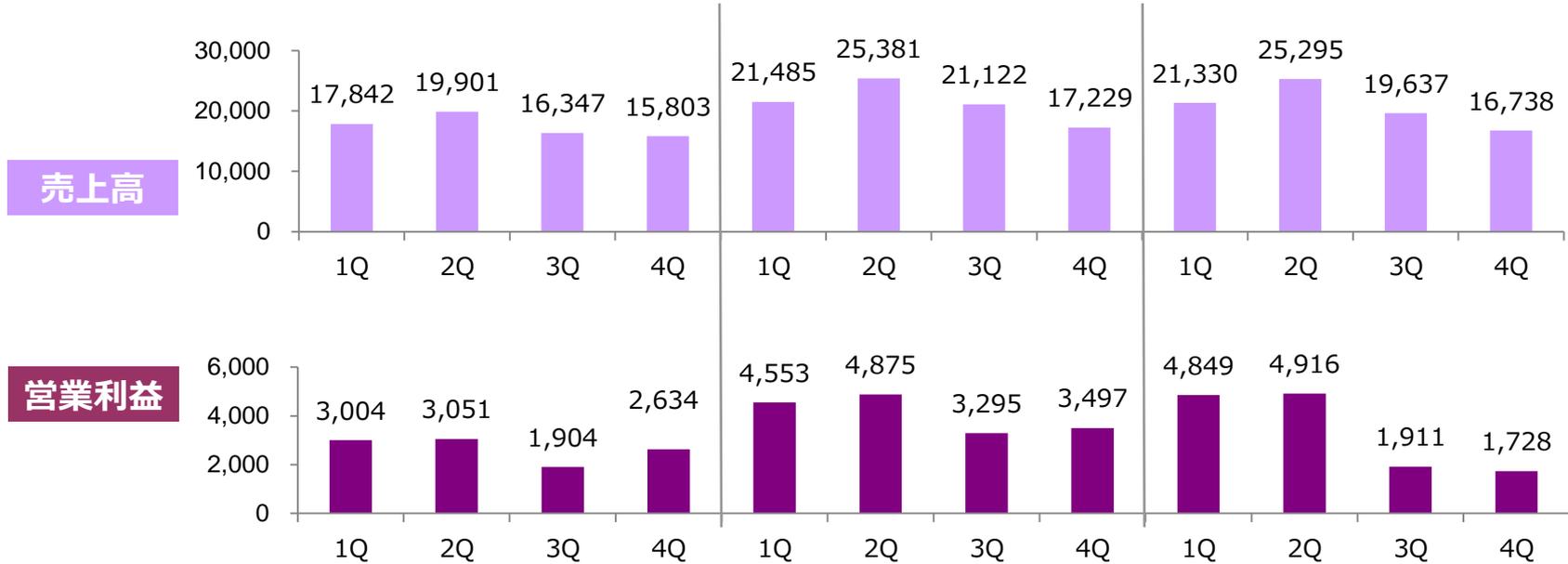
▶▶ 連結実績

単位：百万円

	17/2期 実績	16/2期 実績	前年比 伸び率
売上高	83,000	85,218	▲2.6%
営業利益	13,404	16,222	▲17.4%
経常利益	11,722	15,291	▲23.3%
当期利益	7,757	9,708	▲20.1%
1株利益	162.07円	198.14円	▲36.07円
1株配当金	26.00円	22.00円	+4.00円
設備投資額	1,018	3,821	▲2,802
減価償却費	1,429	1,092	+30.9%
受注高	83,691	84,496	▲1.0%
受注残高	19,477	18,786	+3.7%

▶▶ 四半期毎の売上高・営業利益推移

単位：百万円



為替レート	2015年2月期				2016年2月期				2017年2月期			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
円/米ドル	102.47	101.97	107.76	118.73	119.51	123.43	120.68	121.50	111.98	105.83	102.96	113.89
円/英ポンド	171.43	171.88	174.58	184.65	182.19	191.56	184.86	179.38	159.73	147.05	131.01	142.01
円/ユーロ	141.13	138.29	137.70	140.68	132.14	136.02	134.36	131.15	125.45	117.26	114.51	121.47
円/人民元	16.78	16.33	17.09	18.82	19.09	19.63	19.23	18.82	17.64	16.39	15.41	16.16

▶▶ 地域別売上高

単位：百万円

	17/2期		16/2期		前年比 増減額
	実績	構成比	実績	構成比	
日 本	2,093	2.5%	2,740	3.2%	▲646
北 米	39,657	47.8%	40,503	47.5%	▲845
欧 州	37,988	45.8%	39,009	45.8%	▲1,020
ア ジ ア	760	0.9%	894	1.0%	▲133
そ の 他	2,501	3.0%	2,072	2.4%	+428
売 上 高	83,000	100.0%	85,218	100.0%	▲2,217
海 外 売 上 高	80,907	97.5%	82,479	96.8%	▲1,571

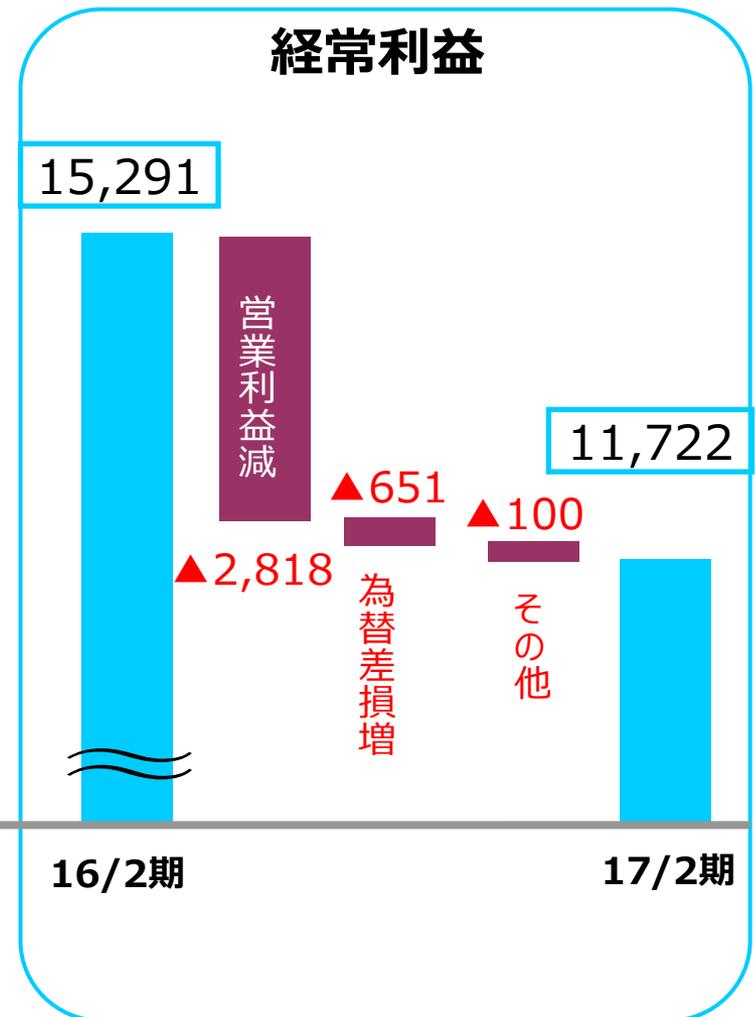
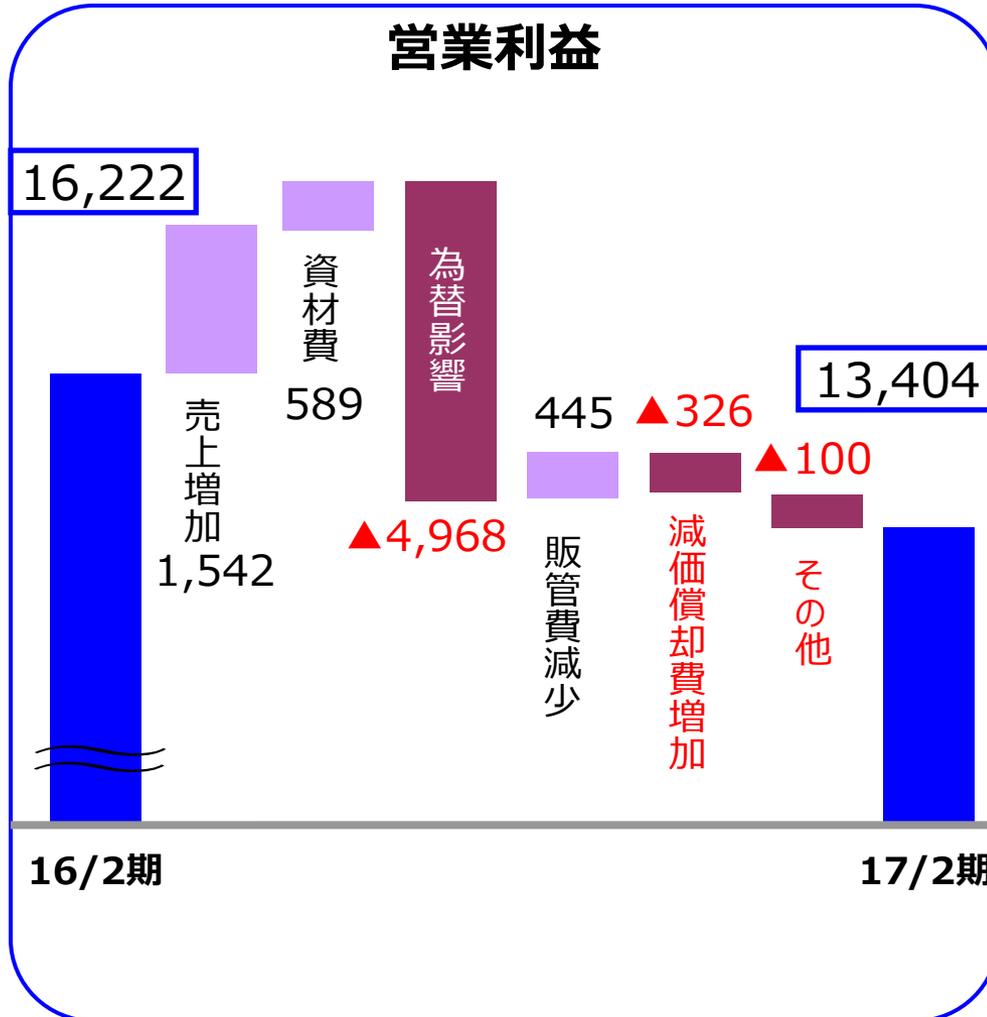
▶▶ 所在地別セグメント情報

単位：百万円

		17/2期	16/2期	前年比 増減額
日 本	売 上 高	30,934	31,432	▲498
	セグメント利益	11,597	15,470	▲3,873
米 国	売 上 高	39,684	40,759	▲1,075
	セグメント利益	2,347	2,215	+132
英 国	売 上 高	8,312	9,420	▲1,108
	セグメント利益	320	375	▲55
フ ラ ン ス	売 上 高	3,558	2,893	+665
	セグメント利益	194	84	+110
中 国	売 上 高	510	712	▲202
	セグメント利益	90	▲898	+988

▶▶ 連結損益増減要因

単位：百万円



▶▶ 連結貸借対照表

単位：百万円

	17/2月末	構成比	16/2月末	構成比	増減額
流動資産	72,278	87.0%	66,010	85.5%	+6,268
現金及び預金	24,211		20,580		+3,631
受取手形及び売掛金	21,490		21,281		+209
たな卸資産	23,605		20,372		+3,233
固定資産	10,806	13.0%	11,205	14.5%	▲399
資産合計	83,085	100.0%	77,216	100.0%	+5,869
流動負債	21,683	26.1%	20,787	26.9%	+896
支払手形及び買掛金	16,997		16,366		+631
固定負債	1,321	1.6%	1,384	1.8%	▲63
負債合計	23,005	27.7%	22,172	28.7%	+833
純資産合計	60,080	72.3%	55,043	71.3%	+5,037
負債純資産合計	83,085	100.0%	77,216	100.0%	+5,869

▶▶ 連結キャッシュフロー計算書

単位：百万円

	17/2期	16/2期
営業キャッシュフロー	6,823	12,275
投資キャッシュフロー	▲1,442	▲4,011
財務キャッシュフロー	▲3,066	▲456
現金及び同等物に係る換算差額	1,316	▲1,035
現金及び同等物の増減額	3,630	6,771
現金及び同等物の期末残高	23,633	20,002

▶▶ 業績見通しのポイント

(1) 需要動向

- 米国の住宅市場は、堅調さが持続し、需要増加を予想
- 欧州市場は、景気が緩やかな拡大を維持する見通しで、需要は増加を予想

(2) 販売台数の見通し

- 販売台数は、北米、欧州ともに増加

(3) 利益見通し

- 鋼材を主とした原材料及び海上輸送コストの高騰、開発力の強化に伴う費用の増加、英ポンド安、ユーロ安の影響などにより営業利益は12.7%減益の予想

▶▶ 地域別売上高予想

単位：百万円

	18/2期		17/2期		前年比 増減額
	予想	構成比	実績	構成比	
日 本	1,890	2.2%	2,093	2.5%	▲204
北 米	43,630	50.9%	39,657	47.8%	+3,973
欧 州	38,230	44.6%	37,988	45.8%	+242
ア ジ ア	310	0.4%	760	0.9%	▲450
そ の 他	1,640	1.9%	2,501	3.0%	▲861
売 上 高	85,700	100.0%	83,000	100.0%	+2,700

為替レート	18/2期予想	17/2期実績
円/米ドル	110.00	108.30
円/英ポンド	137.00	145.32
円/ユーロ	118.00	119.55
円/人民元	16.00	16.40

▶▶ 連結業績

単位：百万円

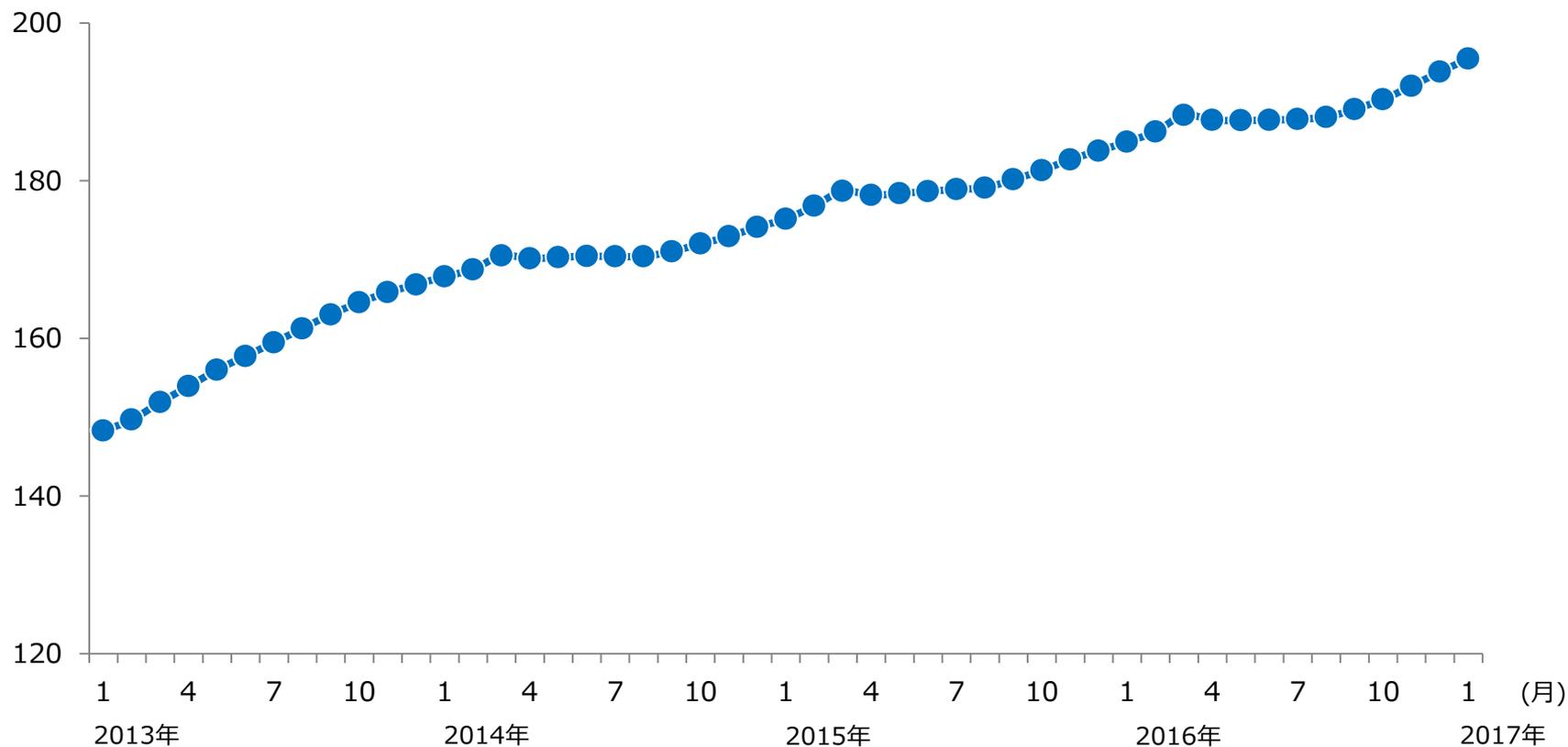
	18/2期予想				17/2期 実績
	通期予想	伸び率	上期予想	下期予想	
売上高	85,700	+3.3%	49,700	36,000	83,000
営業利益	11,700	▲12.7%	7,900	3,800	13,404
経常利益	11,500	▲1.9%	7,700	3,800	11,722
当期利益	7,900	+1.8%	5,300	2,600	7,757
1株利益	165.66円	+3.59円	111.14円	54.52	162.07円
1株配当金	29.00円	+3.00円			26.00円
設備投資額	1,188	+16.6%	497	691	1,018
減価償却費	1,306	▲8.6%	600	706	1,429

為替感応度（営業利益）

±1円/米ドル	±231 百万円
±1円/英ポンド	±48 百万円
±1円/ユーロ	±8 百万円

▶▶ 米国の住宅投資環境

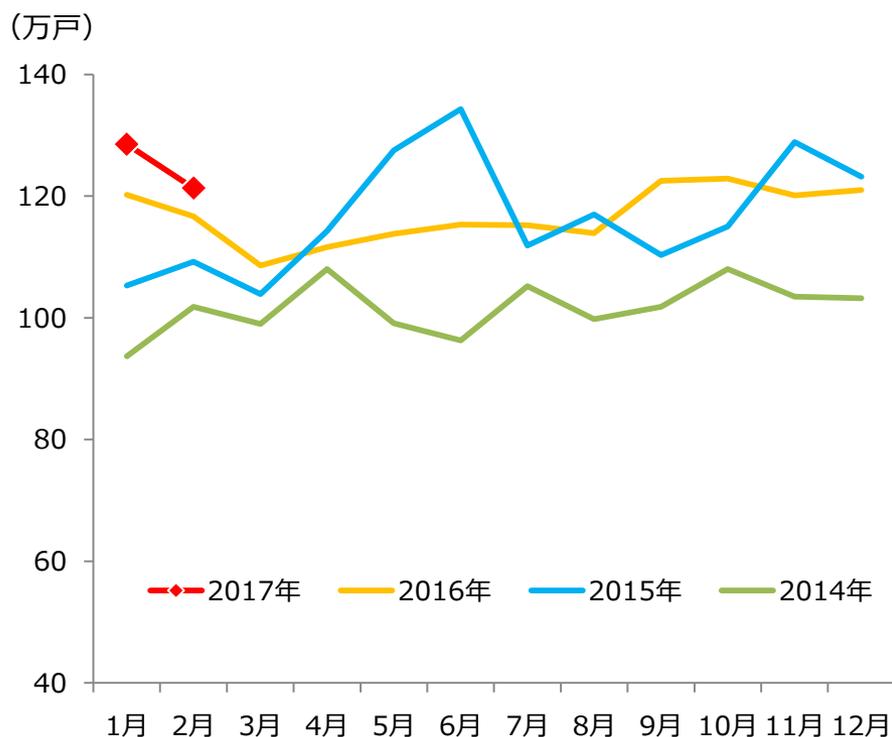
S&Pケース・シラー住宅価格指数
<20都市総合（季調済） 2000年1月=100>



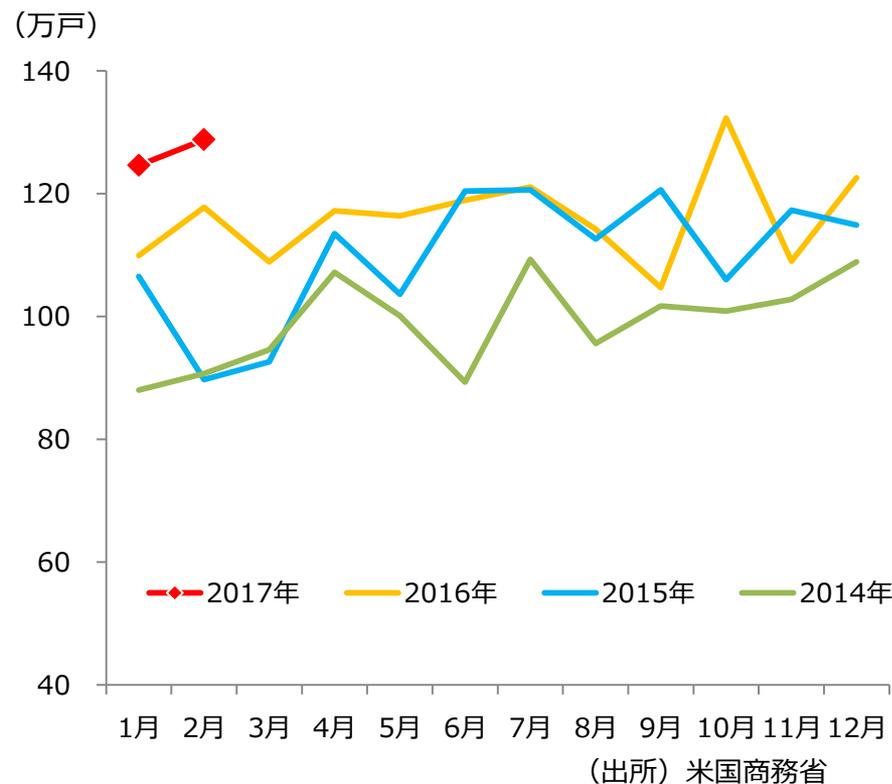
(出所) S & P

▶▶ 現況：堅調続く米国の住宅建設

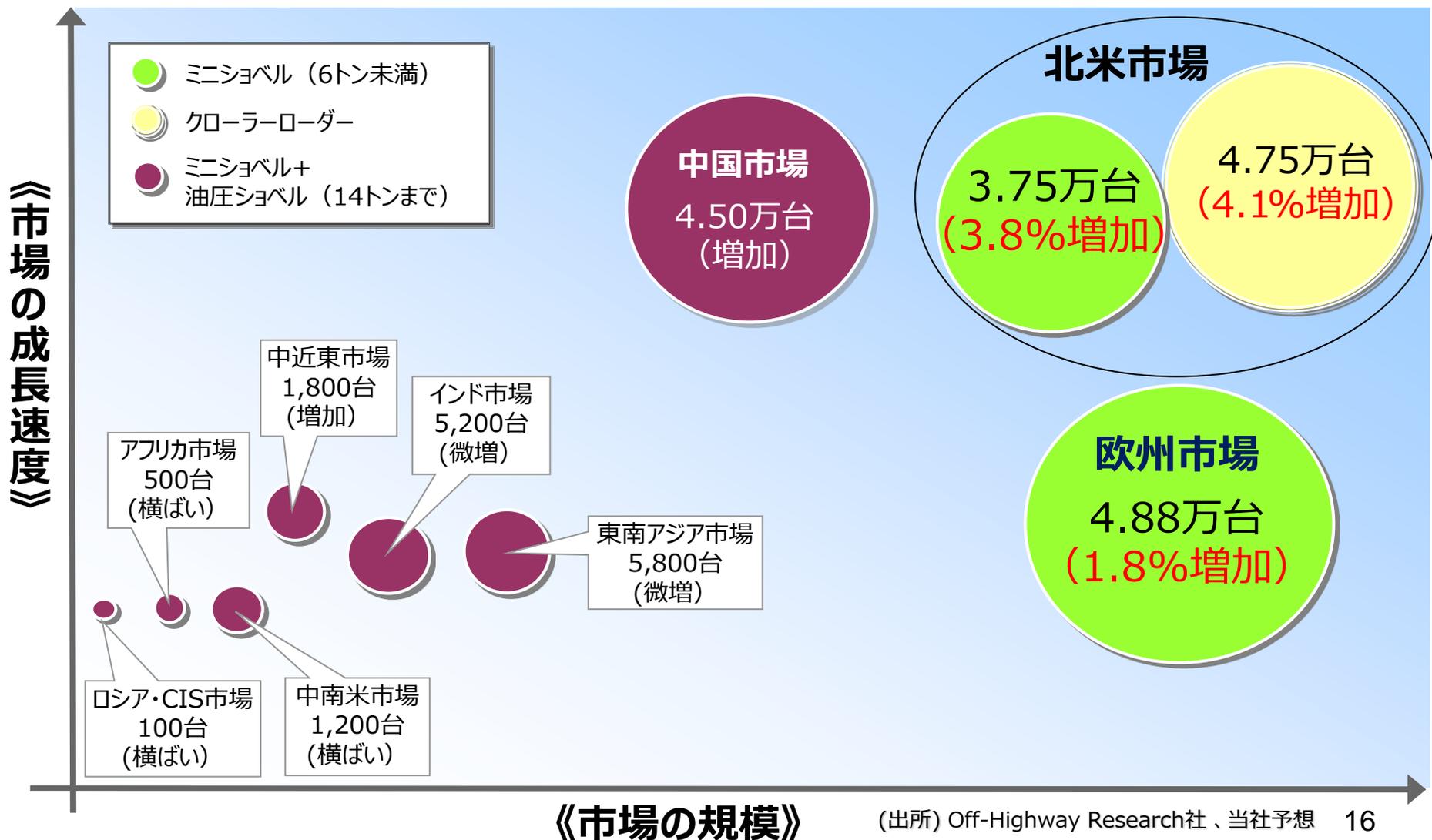
米国住宅建築許可件数



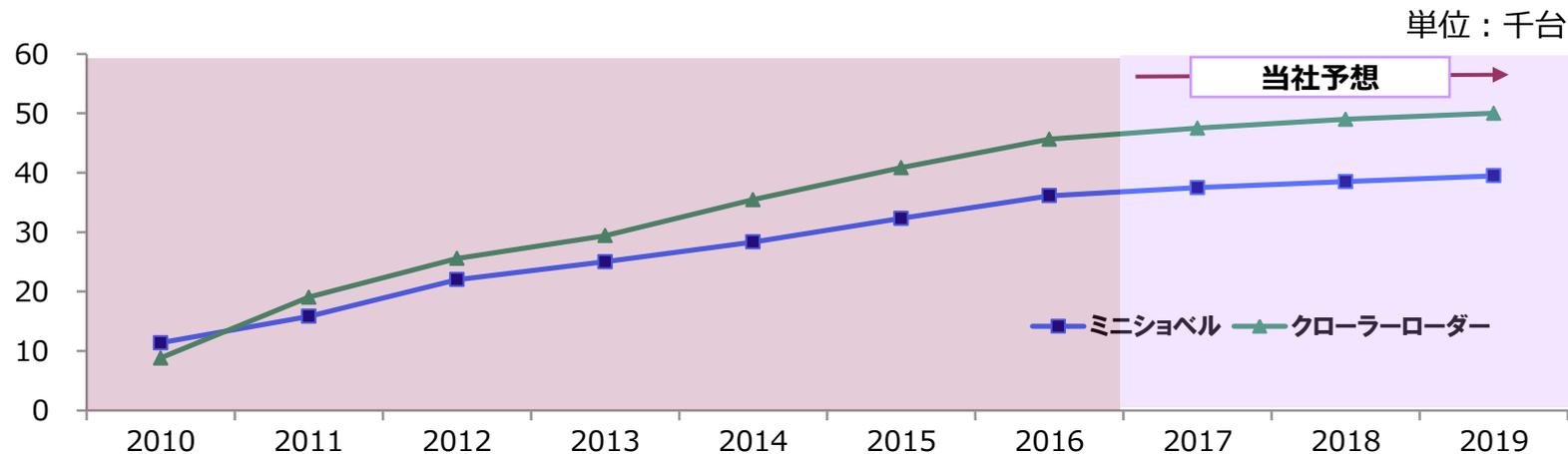
米国住宅着工件数推移 (季節調整済)



▶▶ 2017年の市場見通し概観 (カッコ内は前年比伸び率)

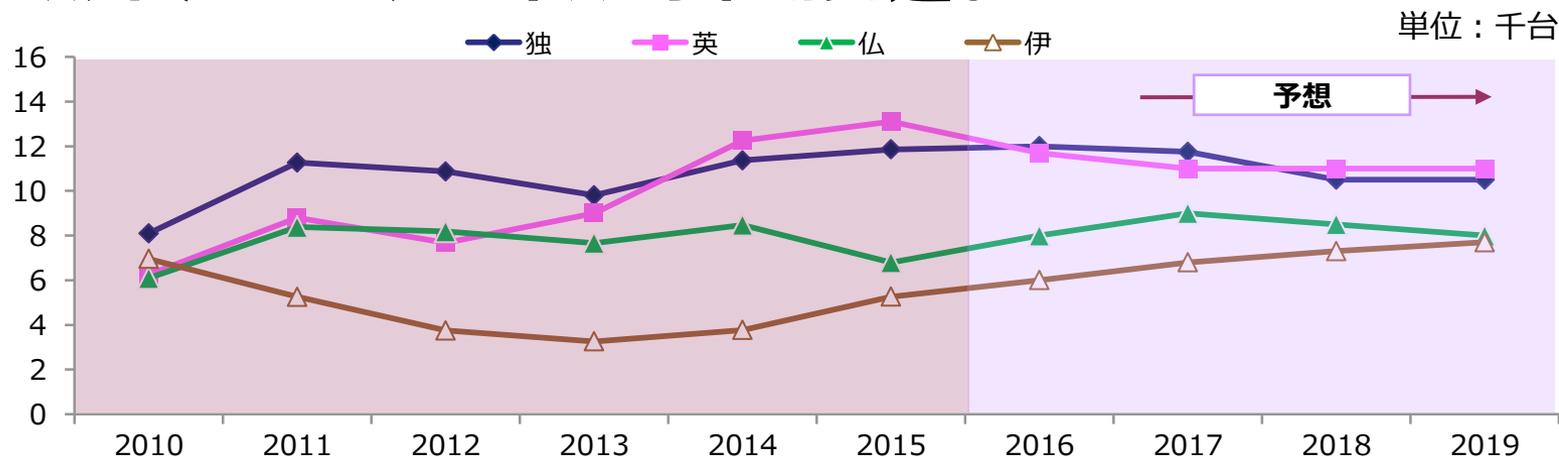


▶▶ 北米ミニショベル・クローラーローダーの中期市場見通し



(出所) 実績は工業会 (AEM)、予想は当社。

▶▶ 欧州ミニショベルの中期市場見通し



(出所) 実績、予想ともOff-Highway Research社。 17

1. グローバル展開深化による顧客満足度向上

▶▶ 欧米に経営資源を重点配置

➤ 新規ディーラー開拓と既存ディーラー網の再構築

- 米国、フランスに合わせて10先ほどの新規ディーラーを設定

➤ 海外拠点の機能強化とグループ間関係の緊密化

- 米国子会社内に「グローバル・マーケティング・センター」を設置

➤ ディーラーへのサポート強化

- ICT（情報通信技術）を活用したサービスとして、米国向け製品全台にGPS機能を利用した情報機器の搭載を開始

2. TAKEUCHIのものづくりを新たなレベルに進化

(1) 新たなものづくりへの挑戦

- **スマートファクトリーの基盤構築と技術データの整備・活用による生産性、効率性の向上**
 - 生産部門強化のための組織改正・・・生産管理部の新設
 - SDNを活用した次世代工場ネットワークを導入

- **経験知と新技術の融合による製品開発力向上**
 - 新技術の開発方針や開発品質向上のための施策立案を行う部署を開発部内に新設
 - 開発人材の採用を積極化

《製品投入実績》

世界共通戦略

1 2 3 4 5 6 7 8 9 (t)

ミニショベル

油圧ショベル

ミニショベル・油圧ショベル

標準機

TB219
TB216 TB228 TB235
TB230 TB240 TB250
TB260

TB285 TB2150
TB290 TB2150R
TB295W

超小旋回機

TB138FR TB153FR

TB280FR

後方小旋回機

TB215R TB23R
TB117E
TB210R

クローラーローダー

TL10 TL10V2
TL8 TL12R
TL12V2

スキッド・ステア・ローダー

TS70
TS50 TS80
TS60

新製品

(2) 将来に向け筋肉質な体質への改善

➤ 原価低減の追求

- 原価低減活動により約 6 億円のコスト削減
- 工場における生産効率の向上を目的に部品のアッセンブリー購入の点数増加および一部の作業の外注化に取り組む

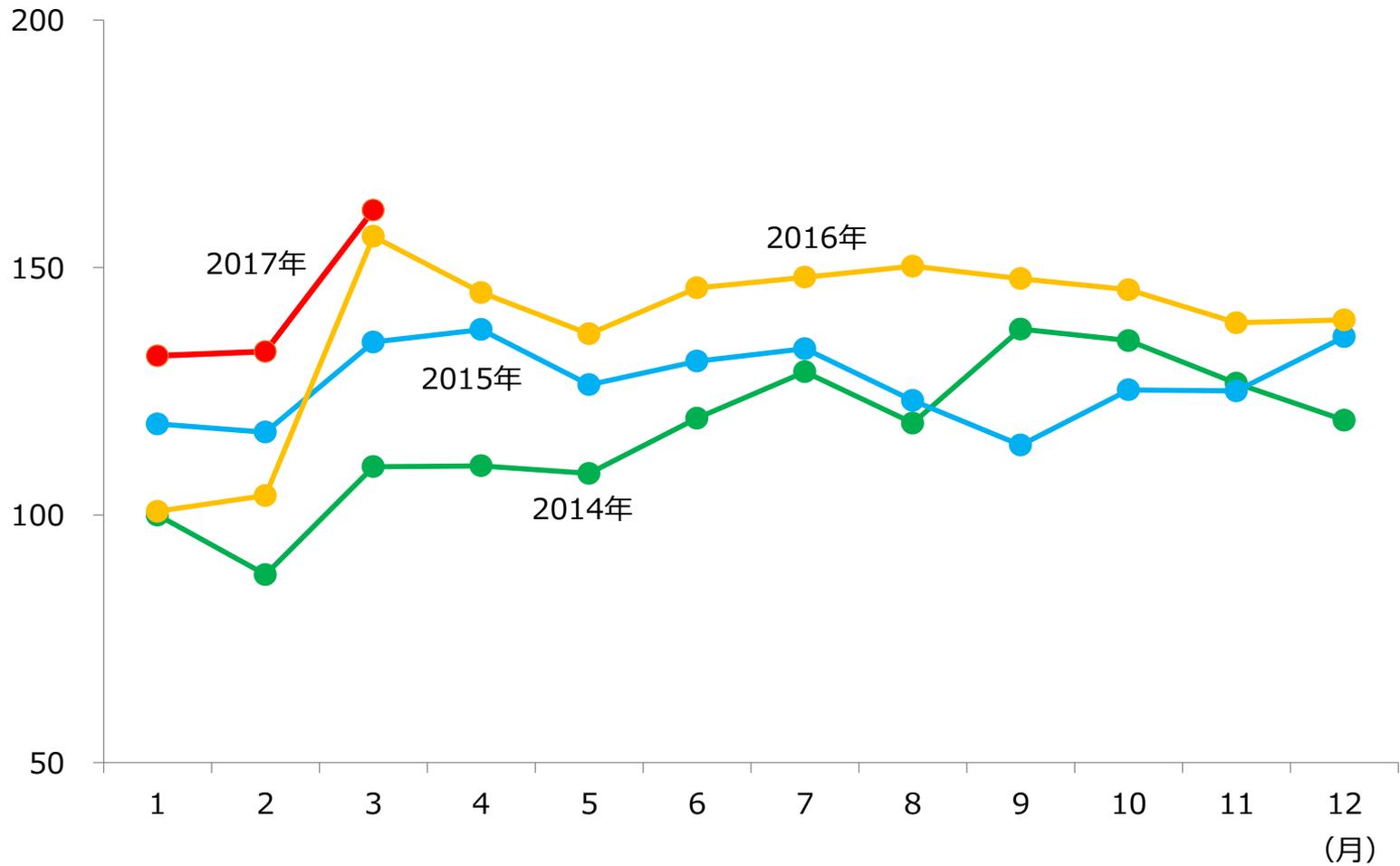
➤ 海外部品調達比率の引上げによる為替変動への対応強化

海外部品調達比率：20% ⇒ 22%

➤ 人材育成の強化と人事制度改革

人事コンサルタントと契約し人事制度改革案を作成中

月別生産台数推移 (2014年1月 = 100)



お問い合わせ先

株式会社 竹内製作所
経営管理部（I R担当）

TEL:0268-81-1200

FAX:0268-81-1127

E-mail:ir@takeuchi-mfg.com

本資料で記述しております業績予想並びに将来予想は、現時点で入手可能な情報に基づいて算定しておりますが、需要動向などの業況の変化、為替レートの変動等、多分に不確実要素を含んでおります。そのため、実際の業績は、様々な要因の変化により業績予想と乖離することもありますので、ご承知おきいただきますようお願いいたします。